

平成30年度指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	旧妹尾銀行林田支店 (PORT ART&DESIGN TSUYAMA)
(2) 指定管理者	所在地 苫田郡鏡野町寺元165-5 名称 EKG合同会社 代表者 代表社員 飯綱 洋平
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成30年10月1日～令和3年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年10月1日～平成31年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	6,322人 (前年度 一人)
(2) 事業の内容	○施設管理業務及び自主事業等 (自主事業の内容) 〈展示〉岡本常秀＋中野由紀子ガラス展, 森下大輔写真展・目黒大路(舞踏), 三浦和・郁子ガラス展等 〈イベント〉ポート・バレンタインマーケット 〈その他〉コーヒースタンド, 写真撮影等 ○年間稼働率 85.82% (前年度 ー%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 6,894千円 (前年度 ー千円) 指定管理料 4,400千円 利用料金収入 67千円 自主事業収入 2,427千円 その他の収入 0千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 8,112千円 (前年度 ー千円) 主な支出 人件費 3,435千円 光熱水費 353千円 修繕・消耗品費等 426千円 委託料(施設管理) 182千円 事業費 1,695千円 公租公課 6千円 その他 2,015千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>今年度は、より深く顧客の要望を捉える質的なデータにこだわり、アンケート調査を紙ベースではあえて行わず、SNSでのコメントやご質問、また口頭での意見要望をスタッフが個別に聞き取った内容を会議で共有するという形で実施した。それらをミーティング等で共有し、問題・課題抽出や業務改善の種を見つけ、またイベント企画立案の際のヒントに活用することができた。特に、バレンタインマーケットのパンフェスでは、お客様のご要望の聞き取りから実施までの期間が非常に短期に実現できたことに、お客様の期待や要望を早期に形にする仕組みを作ることができた、と感じている。</p> <p>しかし、今回の取り組みでは、より多くのお客様のご意見・ご要望にアクセスできなかったこと(量的なデータが不足)、また、そのために、客観性が担保されにくいという問題も感じている。</p>
-----------------	---

	<p>次年度は、これらの反省を踏まえて、より多くのご意見の要望を集めつつ、また、質的なデータの精度をより深め、かつ客観性を担保するための仕組みを作る必要があると考えている。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p>岡山県内外で活動する作家を来館者に広くご紹介でき、芸術文化の交流の拠点として第一歩目を踏み出せたと考えている。</p> <p>旧妹尾銀行林田支店という歴史的建造物をアートとデザインの拠点へと生まれ変わらせることを目的に、津山の歴史文化を引き継ぎながらも、そこに安住するのではなく、芸術という視点から今までにない柔軟で革新的な取り組みを行うことで、多様な芸術表現・文化・食の力を持ち寄り地域に新しい交流を生む仕掛けを創出するとともに、地域作家や地場産業への支援を行うことをビジョンに掲げて、業務を行った。</p> <p>津山圏域で活躍する「ものづくり」を行う作家や商店と密接に協力し、展覧会・マーケットイベント・講演会・音楽会・食事会等の企画運営し、アート、クラフト、食、音楽、ダンスといった「つくる・まなぶ・あじわう・つたえる」等文化活動を横断し、地域で活動する作り手同士の交流や彼らが生み出す魅力あるモノを広め理解していただくことで、来場者と作り手の間に新しい交流を生みだし、双方にとって多角的な学びの機会が得られる施設として、第一歩を踏み出せたと実感している。</p> <p>アートは日常に驚きをもたらしてくれます。今後もそのアートの力を援用し知的で驚きに満ちた環境を作り、新しい活力と知性を市民の皆様や来訪者と分かち合っていく。そのような意図を絶えず持ち、ヒト・コト・モノが密接に交流し地域を活性化させる取り組みを行うとともに、歴史的価値の高いこの館を次世代に引き継ぐため、大切に保存していくことも重要な仕事であると考えている。</p> <p>運営面では、町内や他の文化施設や地域の他の施設との連携の不足、告知の時期の遅延、業務の遅延・仕組みの不整備など運営面での問題点も見られた。また、今年度は財務的には損失を計上しているが、これは弊社では来年度・再来年度に向けた投資と捉えている。次年度は今年作った基盤を元に、収益を確保する取り組みにも力を入れて実施していく予定である。</p>
(3) 市の評価	<p>平成30年10月のオープン当初から、施設の周知・広報に取り組み、多彩な催し物を企画運営し、市内外から多くの来館者があった。</p> <p>貸館業務は、業務計画目標にはほど遠いが、初年度で認知度の低い中、また自主事業中でも空きスペースを活用するなど工夫がみられた。次年度以降は、さらに貸館業務にも力を入れるよう望む。</p> <p>収支については、事業計画や収支バランスに基づいた健全で計画的な執行に改善を求める。</p>